2023/2/27
アルタキッズ美園東園

保護者各位

「自己評価のご報告」

春色のなごやかな季節、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度は、日々アルタキッズ美園東園をご利用していただいていることに感謝を申し上げます。そこで、今回のアンケートをもとに、園としての自己評価をまとめさせてもらいましたので、ご確認ください。

次年度以降は、さらなる発展を目指し、がんばる所存です。今後とも宜しくお願いいたします。

さて、先日はお忙しいなかアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集計ができましたので、まず「保護者アンケート結果」、次に「職員自己評価まとめ」、最後に「園としての自己評価」をさせていただき、ここにご報告申し上げます。

園長　田中淳一

1.保護者アンケート結果に関して

「保護者アンケート結果」アルタキッズ美園東園				回答率：58.33%
No	質問項目	はい	どちらともいえない	いいえ
1	当社の保育理念・保育目標について理解していますか	42.86%	42.86%	14.29%
2	職員はお子さんの気持ちを大切にしていると感じますか	80.95%	14.29%	4.76%
3	職員の言葉遣いや態度、服装等は適切ですか	85.71%	14.29%	0.00%
4	保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	71.43%	23.81%	4.76%
5	安全対策や感染症対策が十分取られていると思いますか	71.43%	23.81%	4.76%
6	お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったときの職員の対応は信頼できますか	85.71%	14.29%	0.00%
7	保育所で提供される食事・おやつはお子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	80.95%	19.05%	0.00%
8	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	80.95%	19.05%	0.00%
9	当園に満足されていますか	76.19%	23.81%	0.00%

2023/2/27
アルタキッズ美園東園

今回のアンケートの結果を受け、どちらとも言えないと回答された家庭が多かったことに関し、職員のお子様一人ひとりに対してや保育園という一つのコミュニティに対して、保護者の皆様が考えているところまで行き届かなったことを反省し、次年度に向け、改善をはかって、園児、保護者、地域の皆様に親しまれるアルタキッズ美園東園になれるようがんばってまいります。その所信表明の一つとして、アンケート結果に応え、重点項目とするものから順に話をさせていただきます。

No3 の職員の言葉遣いや態度、服装等が不適切だと感じることについて
「いいえ」と「どちらともいえない」を合わせ、14.29%であったことについて今年度は、度重なる保護者様からのご指摘等をもらうことがあり、改善に努めてまいりましたが、一年間を基本生活として考え、保育しお子様の成長を見守る私たちにとって、退園したお子様が多かったことが大反省であります。お子様の成長への主導権は、保護者にあり、その道筋に沿い、保育者がサポートしていく現代の保育園の姿よりも、保育者の考えが優先され、保護者からのみた(第 3 者の立場として)不適切保育と指摘を受けたことについて、次年度は、歳児別の保育室がある認可保育園の良点であるが、他の歳児の部屋まで見届けない環境を脱し、常日頃から保育者の保育を互いに言い合える信頼関係の構築とともに、職場内研修を通し、保育の在り方のアップデートを更新し、それを指導できる管理者を目指し、日々学ぶ姿勢を保ち、精進していきます。
本来、不適切保育と思われてしまう言動は、決してあってはならないことであり、今回の結果が 100%「はい」でなかったことを踏まえ、事実があったこと・指摘があったことには、小さいうちに、対応、指導していくことで、保護者の保育満足度をあげてまいります。

No2 の職員はお子さんの気持ちを大切にしていると感じますか？について
「いいえ」が 4.76%あったことに対し、とても辛い気持ちとなりました。それ以上にせっかく当園に預けていただいた保護者様に悲しい思いを持たせていることに、お詫びいたします。人は性格等において十人十色と言われてはいますが、私たちは子どもが好きで、保育が好きで、この仕事を生きがいとして勤務している中において、保護者様から「いいえ」をもらってしまったことに対して、保育者への指導強化が急務であると感じています。今後は、なるべく管理者である私が確認できる環境を作り、まずは開かれた透明性のあるクラスを確立し、良いことはもちろん、まずいことも言い合える各クラスの関係作りを築けるよう、努力目標にはなりますが、がんばってまいります。（その第 1 歩として、昼礼の機会、管理者への報告体制を作って、保育園に携わるみんなが、幸せになることを目指していくようにします。初歩の初歩ではありますが、がんばってまいります。）
お子様のたくさんの笑顔、元気があふれる、楽しい保育園と思ってもらえるような保育を展開していきたいと考えています。

2023/2/27
アルタキッズ美園東園

No４の保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いますかについて
「いいえ」と「どちらともいえない」を合わせ、28.57%であったことについて、クラスのロッカーの上の整理整頓や事務室の物の整理等すべてにおいて、人任せや保育者の忙しさもあり、乱雑になっていたり、お子様の一人ひとりの様子等が書いてある面が、誰もが見られるように置いていたりと、プライバシー保護重視の中において、不適切であったことを痛感しました。保育者が立ち寄ったところでの「この空間は気持ちよいかな？」と「こうしたらよいかな？」と考え、保育者である前に一人の大人として成長を促し、いつもきれいにして、さすがアルタキッズ美園東園はいつもきれいだ！入園させてよかったと思ってもらえる園作りをしていきたいです。

No5 安全対策や感染対策が十分に取られていると思いますかについて
こちらも、No4 と同じように、「いいえ」と「どちらともいえない」を合わせ、28.57%であり、はいだけでなかったことにどういうところかなと考えました。感染対策においては、保護者の皆さん、職員といったアルタキッズ美園東園に携わる全ての関係者に、マスクの着用と消毒、手洗いをしてもらい、一時期、幼児クラスの子ども達のマスク着用義務やこの時期のお子様を直接見られる機会を失ってしまったこと等、不自由な面を強いていたことについて感謝の気持ちでいっぱいです。この一年、ご理解とご協力をありがとうございます。その反面、動画を撮影し、普段のありのままの姿を見られる機会を作り、週末等の楽しみを増せたことは良かったと思っています。また、保育参観では、直接見てもらったり、保育園での活動をともに生活体験することもできたり、クラスの保育者と話す機会を持てたことに対して、開催できたことに嬉しさを感じています。こういった保護者様の参加してもらえる行事を増やしていきたいと思っています。
安全対策という面で今年度は、周囲からの危険性の高いお知らせもあり、子ども達が一番楽しみにしている戸外活動を中止する事案が多数あり、機会の喪失がありました。子ども達の安全を第一に考えた結果とは言え、さみしい限りです。しかし、体を動かすことが大好きな子ども達のために、大型のウレタンブロックを購入し、平均台のように繋げて、その上を歩いてみたり、家をつくり、その中に入って遊んでみたり、保育者に手を振ってみたりと、室内遊びの環境を充実できるよう整備しましたが、少しずつではありますが、そういった高価な買い物もし、室内外問わず、園設備を充実していきたいと考えております。

No6 お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったときの職員の対応は信頼できますかについて
どちらともいえないとの回答が、14.29%あったことを鑑み、次年度に活かしていきたいと思います。職員間の報告、連絡、相談ができていないことや電話対応を個室でしたことによる共有が満足にできておらす、折り返しの電話があったときも待たせてしまうことがあ

り、即対応でできなかったことに対し、貴重な時間を割いてもらったことへの敬意を表せなかったことが反省としてあります。すでに現在継続中となりますが、昼礼を毎日設けたり、報告と連絡の徹底をし、少しでも職員間での意思疎通をはかって、安心して預けられる環境作りに努めております。

No8、不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますかと No9、当園に満足していますかの 2 つの質問についても、「どちらともいえない」の回答があり、「いいえ」の回答が 0%ということに関して、中々保護者の立場からは、はっきり言えない、お子様に何かあったら困る、預け先がなくなるのではないかという不安な気持ちを持たれている方が少なからず存在する表れではないかと感じ、管理者として、皆様にご心配をかけている点であると考え、反省しきりのところであり、少しでも改善を図り、一人ひとりの顧客満足度を上げていけるよう、ニーズの把握と達成するためには何をすべきなのか考え、実行するという【ＰＤＣＡサイクル】を循環させ、よりよい保育の実践につなげていくよう働きかけていきたいです。
保育者と保護者の間での信頼関係がうまく構築されている方とそうでない方が見られた一年であったと実感するとともに、管理者として指導不足を痛感した一年となりました。保育者も一人の人間であることもあり、子どもとの関わり等の中において、合う合わないの観点もあるかとは思いますが、信頼関係の構築のために、この保育者だったらと安心して預けられる、お子様が楽しいと思ってくれるような保育実践ができるようサポートしていくよう心掛けたいと願っております。そのためにも、どの職場でも言われる「報告、連絡、相談」を密にとり、園に関わる全ての人が満足感や達成感を感じてもらえるような雰囲気を築き、ちょっとずつ、信頼されるアルタキッズ美園東園にしていく活き込みです。

このアンケート結果を受けて、「いいえ」の回答率は少なかったけれども、アンケート調査に関する回答率と「どちらともいえない」が多かったことに対し、まだ在園されている家庭や地域の方から魅力のある保育園を目指している私たちにとってまだまだであることを実感した次第です。この事柄を真摯に受け止め、「はい」100%を目指して、日々の保育に取り組んでまいります。

2.職員自己評価に関して

・当社姿勢目標の順守に関して

報告、連絡、相談、把の徹底が一番の課題であると認識しました。認可保育園の良いところである歳児別保育ができるという、一人ひとりの成長を比べてみたり、共に学び、共に成長しようとする意欲を育むことに特化してしまい、他のクラス状況を見て見ぬふりをする傾向にあったことを反省し、合同保育の時間等に積極的に他の子と一緒に過ごしてみる、

遊ぶ、異年齢交流を盛んにしてみるといった取り組みを来年度は取り入れていきたいと思います。

・コドモンを用いた保育計画に関して
現状では、以前のキッズリーと変わらない程度であるため、これから先、保育ドキュメンテーション等の機能を活用していくことで、一人ひとりの保育技術を高める学習や一人ひとりの心のゆとりにもつながっていくのだと思います。

・保育の成果集(Libro)に関して
今年度もまた、保護者参加の行事が少なくなってしまったことについて、子ども達の成長を間近で見る機会を失ったこと残念な結果であった。しかし、動画をみてもらったりすることで、翌週の連絡帳で、ダイレクトに反応が返ってくることに嬉しさを感じました。また、日々の保育で撮影した写真についても多くの方に購入や閲覧してもらうことで、モチベーション向上につながっているので、子どもの一人ひとりの表情をとりまとめていきたい。
一つのおもちゃで遊ぶことも大切だが、コーナー遊びの形態も取り入れ、子どもが取捨選択して遊ぶ。お友達と一緒に遊ぶ。貸し借りの機会等の規律を守るといった今身に着けてほしいことをきちんと学べ、体験することの大切さを伝えていきたいと思っています。

・子どもとの正しい接し方(Luce)に関して
子どもに対しての言動が、不適切保育になるのではないかという指摘を受けたり、職員間でも中々口に言い出せない関係になってしまったりとしていることが、現在の園としての課題ではないかと考えています。姿勢目標の順守にもつながることだが、報告、連絡、相談する中で、職員間の垣根を少しでも減らしていくように、お互いが言い合える時間（空間）作りを計画していきたいと考えます。
一人ひとりの考えや姿勢は素晴らしいこともあるので、一つのアルタキッズ美園東園というチームとしてまとまっていくようにしたい。

3.園としての自己評価に関して
・当社（全園共通）の保育理念（国際人を育成する）に関して
就学前のお子様を、0 歳児から最長で 6 年間を通して、お預かする当園では、保護者様の子育て方針に寄り添いながら、お子様の成長を共に見守り、共に成長していくことを目標にして、学校、社会に出ても恥ずかしくない、優しく・頼もしく・誰からも愛される素敵な人になってほしいという気持ちを持ちながら、保育にあたっています。
そういった目標を立ててはおりますが、どの程度達成できたかどうかはまだ未知数である

と思っています。今は現在進行形であり、アルタキッズ美園東園を卒園した数年後に結果がわかるものであると思いますので、今は素敵な理念に向かって、邁進し日々の保育を充実させ、一つでもお子様が実のある一日であったと笑顔を見せてくれたときが 1 ポイントであると思っています。

・当園の保育目標に関して
毎日子どもの笑顔な姿をみる。子どもや大人の良かった（できた）ことを褒め、いつも笑い声の絶えない保育園という全体目標（保育）と考え、この一年保育をしてきましたが、園の対応の不甲斐なさから、転退園が相次いだこと、解決のために保護者面談や保育者への指導をしてはきたが、留まる選択より、新しい園での再出発を決断させてしまったこと対し、目標としていた課題がほぼ達成できていないという評価に至りました。もちろん個々には、継続の意思を表明してくれる方や管理者が繰り返し変わっていく中で、ようやく落ち着いたこと、園の透明性が出てきたこと等嬉しい言葉をいただいたこともあり、今現在歩んでいるアルタキッズ美園東園の歴史の 1 ページがようやくスタートした感じがあり、これから皆様とともに歩んでいこうと思います。
運営において、昨年度からの課題となっておる人員不足や職員の定着といった面に重点を引き続き考え、一年目標として運営を株式会社アルタナーサリーとともに、運営をしてきました。人員不足ということは改善されつつあり、昨年は退職者が多く、入職者が少ない現状ではありましたが、職員の定着率では、上がったのかなと感じています。引き続き取り組み続けることではあると思いますが、定着し続け、保育の質を高め、向上心を持った人材を育成することが第 2 ステップであると考えています。管理者である私自身も、新人管理者であるので、研修や他園園長とのつながりの中で、アルタキッズ美園東園が「地域で一番いいね。」「地域に根付き、いつまでも残る保育園だね。」等たくさんの高評価をもらえるよう、保育の質向上、保育の楽しさを味わう、子どもがいきいきしているといった素晴らしい保育園にしていきたいと願っております。

来年度の目標としては、次の 2 つをかかげ、70%以上の成果を上げられるようにしていきたいです。
①一人ひとりの顔を見て、お話できる雰囲気を作る。
②地域に根付いた保育園として、アピールする。

以上となります。長文を読んでいただきありがとうございました。